

特別講義 最先端医療 講座

R6.12.13

NANAOHIGHSCHOOL
七尾高校1年生
理数科



金沢医科大学 石垣靖人先生

講師紹介（経歴）

金沢大学薬学部卒業・薬剤師免許取得
金沢大学薬学部・教務職員、助手、博士（薬学）
米国 Roswell Park がん研究所、Rochester 大学
医歯学部博士研究員
金沢大学自然科学研究科助手
金沢医科大学・総合医学研究所・講師
東京大学農学生命科学研究科非常勤講師

金沢医科大学・総合医学研究所准教授をへて
教授
金沢医科大学病院再生医療センター
ゲノム医療センター所属

はじめに

金沢医科大学より石垣靖人先生をお招きし、金沢医科大学で行われている人を救うための研究についてお話をお聞きしました。

高校での学びと大学での学びはどのように違うのか、学部によって教育・研究の内容はどのように違うのか、とくに金沢医科大学では具体的にどのような研究をしているのか最前線で研究される石垣先生から貴重なお話を聞くことができました。

内容

大学での研究

高校は「教育機関」であるのに対し、大学は「教育機関」としての意味合いが強くなる。特に医学部では、これまで治らないとされている病気の治療法を開発するために研究している。

培養細胞

石垣先生は生きている細胞を薬として使う治療法を研究しており、自分の体からとった細胞を培養して移植する自家移植も可能になっている。次回職による治療では、副作用や倫理的な問題が発生しにくい。

新しい治療法

金沢医科大学では、脂肪由来幹細胞を利用した膝関節症の細胞治療を行っている。イタリアで行われていた治療法を日本で行うために、さまざまな基礎研究を重ねて、治療を行えるようになるまでの経緯をお話していただいた。



培養した Hela 細胞を下から覗く



顕微鏡を囲んで質問する

